



令和4年度

但馬産業大賞

令和5年2月



審査委員会／令和4年9月20日(火)

表彰式／令和5年2月15日(水)



兵庫県但馬県民局長
登日幸治

ごあいさつ

但馬は、豊かな自然や歴史・風土のもとに、高度な伝統技術や先端技術を持つ地域産業、人々に憩いと安らぎを与える観光産業、自然の恵みを大切にした農林水産業などを育み、同時にそれぞれの産業が地域の発展を支えてきました。

但馬県民局ではこれからの但馬の産業をリードする独創的な技術を持つ事業者、地域資源を有効活用する事業者、新分野にチャレンジする事業者に、「但馬産業大賞」をお贈りしております。平成19年の創設から過去15年間で、「キラリと世界へ輝く技術部門」29者、「自然と共生する環境創造事業部門」8者、「観光・交流資源を活かしたツーリズム部門」27者、「新分野へチャレンジする経営革新部門」を18者、計82者を顕彰いたしました。

今年も卓越した技術力や斬新なアイデア等を遺憾なく発揮し、但馬の産業活力と地域発展の原動力となっておられる4つの事業者が受賞者に決まりました。受賞される皆様に心からお喜び申し上げます。皆様の技術やサービスは、今後の但馬が迎える新たな展開に不可欠のものと堅く信じております。

未だその勢いが収まらない新型コロナウイルスや、円安による原材料価格の高騰といった昨今の社会経済情勢は、飲食業や観光業等多くの業種への大きな影響を与えています。但馬地域においても例外はなく、地域産業は非常に厳しい状況に置かれています。

このような中、地域の活力向上を図るためには、豊かな環境、特色ある農畜水産物、日本遺産等の但馬固有の資源を活用し、「住みたい」・「訪ねたい」地域としての魅力をより高める必要があります。但馬県民局としても、地元商品、製品の販路開拓支援や、兵庫ディスティネーションキャンペーン関連事業の展開、桃島バイパス、浜坂道路などの道路網の早期整備等を推進し、地域資源の魅力を高めるとともに、交流人口の拡大、地域経済のさらなる発展に繋げて参ります。受賞されました皆様にも、事業活動などを通じ、地域づくりに更なるご尽力をいただければ幸いです。

結びに、受賞されました皆様が、今後ますますご発展、ご活躍されると同時に、コロナ禍からの但馬地域の復興・飛躍の先駆けとなり、地域産業を力強く牽引していただくことを心から期待しております。



審査委員長
奥田 孝一
(兵庫県立但馬技術大学校大学校長)

講 評

今年度も、関係団体からご推薦をいただいた事業者について、6名の審査委員が技術・手法、独創性、地域への貢献度など様々な面から厳正な審査を行いました。

その結果、令和4年度但馬産業大賞は、4部門で4者が受賞されることとなりましたので、ご紹介いたします。

「キラリと世界へ輝く技術部門」

○株式会社 土居工作所

社員が想像力を働かせ、技術を活かして成長していく会社を目指しており、NIRO((公財)新産業創造研究機構)のサポートを受け、独自のロボット開発を強化してきました。専門事業者に委託せずに自動化実現に向けて取り組んでおり、令和2年に多関節ロボットを導入し、パレット搬送と素材の着脱に部分的に成功しました。定型的な作業をロボットが担うことにより、作業効率の向上と夜間作業が可能となり、社員はより創造的で付加価値を生む業務への時間を確保できたことで、今後は更なる技術力の向上と、働き方改革への効果が期待されます。

「自然と共生する環境創造事業部門」

○株式会社 白バラドライ

廃校となった中学校を工場として利用、広大なスペースのある体育館では連続自動物干し竿を設置し、他社では受注できない旅館・ホテルの大量の布団や、テントなどのアウトドア製品といった大型洗濯物に対応しています。軟水である地下水を利用することと、自然乾燥を導入することで、動力費や燃料費の半減と、繊維に対する負荷の低減により、環境に優しい製法で商品の品質向上が得られました。

中学校の各施設を有効利用することで環境に配慮しながらも、快適で効率的な職場環境を確保されている点が評価されました。

「観光・交流資源を活かしたツーリズム部門」

○株式会社 たびぞう

コロナ禍でこれまでの団体旅行が中断し、多様な旅行形態が求められる中、観光地本来の姿を保ちつつ、観光地の開発やサービスのあり方を見定めることにより地域文化と環境配慮を第一に考えるツーリズム「おちたび」を提供しています。

電動モビリティを活用し、周遊性・滞在性を向上させ、四季折々の地域のおすすめ情報や楽しみ方を記載した「おちたび MAP」の開発や、ガイドは同行せず、参加者だけで穴場スポットを楽しむ「プレガイド」など新しい視点で旅のスタイルを確立し、地域の活性化への貢献が評価されました。

「新分野へチャレンジする経営革新部門」

○兵庫県鞆工業組合

(一社) ALLIANCE FOR THE BLUEが海洋負荷低減のため取り組む、廃漁網からナイロン生地を製作し製品化するというリサイクル活動に賛同し、第一弾として、組合員数社で生地に廃漁網を使用した「豊岡鞆」を製造しました。

本取組は、メディアにも取り上げられ、「SDGsの豊岡鞆」としてヒット商品となると共にブランド力の強化にもつながっており、加えて豊岡市の知名度向上にも寄与しています。廃漁網活用の普及啓発を実施しており、今後は地元廃漁網の活用についても検討していくなど、新しいビジネスモデルを開拓して経営革新を確立することが期待されます。

最後に、受賞者の皆様が、受賞を契機にますます研鑽を重ね、さらなる飛躍を遂げられますように祈念いたしまして、講評といたします。

但馬産業大賞受賞者名簿

区分 キラリと世界へ輝く技術部門

受賞者名

株式会社 土居工作所

複雑形状の切削加工に応える技術と多品種少量生産での無人自動生産システムの自社開発

区分 自然と共生する環境創造事業部門

受賞者名

株式会社 白バラドライ

中学校跡の施設を活用した寝具・テントなどの大型クリーニングと保管に特化した省エネ工場の操業

区分 観光・交流資源を活かしたツーリズム部門

受賞者名

株式会社 たびぞう

環境配慮と地域活性化という新しい視点で参加者自らが創りあげる旅のカタチ【城崎ぷちたび】の開発

区分 新分野へチャレンジする経営革新部門

受賞者名

兵庫県鞆工業組合

廃漁網を創造的再利用した素材生地を用いた「豊岡鞆」事業を新たに展開

但馬産業大賞審査委員会委員名簿

兵庫県立但馬技術大学校	大学校長 奥田孝一(委員長)
兵庫県立工業技術センター	所長 山崎 徹(副委員長)
(公財)ひょうご産業活性化センター	常務理事 岩原直子
(公社)ひょうご観光本部	専務理事 松浦幸浩
兵庫県北部農業技術センター	所長 池内俊久
(公財)但馬ふるさとづくり協会	事務局長 竹林 誠



株式会社 土居工作所

複雑形状の切削加工に応える技術と多品種少量生産での無人自動生産システムの自社開発

同社は、電車や工作機械、切削工具等に使用される精密金属部品の製造を行っており、高い技術力を有し加工難易度の高いウェッジ生産では国内有数のシェアを誇っている。加工技術の高さと、革新的な製造プロセスで、多くの難加工を行い品質要求の高い大手企業との取引を年々拡大させている。

2019年からNIRO((公財)新産業創造研究機構)のサポートを受け、自社独自でロボットによる自動ラインの開発を強化。2020年に多関節ロボットを導入し、パレット搬送と素材の脱着に部分的に成功した。社員が想像力を働かせ、技術を活かして成長していく会社を目指しており、専門事業者へ委託せずに自動化実現に向けて取り組んでいる。

定型的な作業をロボットが担うことにより、作業効率の向上と夜間作業が可能となり生産量の増加が期待されるとともに、作業者はより創造的で付加価値を生む業務への時間を確保でき、更なる技術力の向上と、働き方改革への効果が見込まれる。



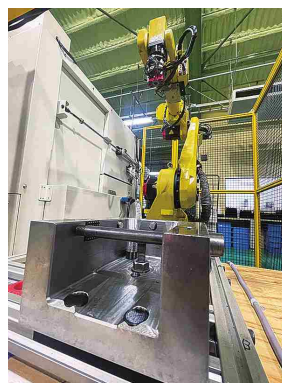
会社外観



スタッフ



デジタル職人



ロボットによる部品着脱1



ロボットによる部品着脱2

会社沿革

- 1967年 城崎郡日高町土居にて創業
- 2007年 株式会社 土居工作所 設立
- 2012年 ISO9001取得 5軸複合加工機導入
- 2017年 創業50周年 出石町安良に移転
- 2018年 兵庫県 成長期待企業 選定
- ひょうご中小企業技術・経営力評価制度 優良企業認定

会社住所

兵庫県豊岡市出石町安良3-18
 TEL 0796-34-8030
 FAX 0796-34-8031
 E-mail:info@doi-tec.com
<https://doi-tec.com/>

株式会社 白バラドライ

中学校跡の施設を活用した寝具・テントなどの大型クリーニングと保管に特化した省エネ工場の操業

同社は、廃校となった中学校の施設を工場として利用、体育館を活用した広大な工場スペースに連続自動物干し竿を設置し、他社では受注できない旅館・ホテルの布団や、テントなどのアウトドア製品といった大型洗濯物を専門に手掛け年間約8万点を取り扱う。軟水である地下水を利用することと、自然乾燥を導入することで、動力費や燃料費の半減と、繊維に対する負荷の低減により、環境に優しい製法で商品の品質向上が得られた。

加えて校舎設備を転用し洗濯道具や保管場所に活用。保管サービスを提供することで他社との差別化を図っている。

従来のボイラー乾燥の作業場は蒸し暑く、従業員は汗だくで働いていたが、当施設稼働後は、体育館の広大なスペースと自動物干し竿の導入によって、従業員の作業性・安全性・身体負担の軽減につながり、また体育館の各施設を有効活用することは快適で効率的な職場環境の確保につながっている。



全 景



体育館外観



テントと布団自動物干し



テント仕上がり確認



体育館内作業風景

会社沿革

- 1966年 白バラクリーニング店創業
- 1978年 法人化 株式会社 白バラドライ設立
- 1987年 豊岡本社工場落成 同時に福知山事業部開設
- 1989年 布団丸洗い工場落成
- 1996年 浜坂工場落成
- 1998年 和田山工場落成
- 2006年 京丹後事業部開設
- 2019年 コインランドリー 13店舗出店達成
- 2020年 旧豊岡市立森本中学校を取得

会社住所

兵庫県豊岡市庄境995-1
 TEL 0796-22-3298
 FAX 0796-24-4739
 E-mail: info@shirobara-dry.co.jp
 HP: http://www.shirobara-dry.co.jp

株式会社 たびぞう

環境配慮と地域活性化という新しい視点で参加者自らが創りあげる旅のカタチ【城崎ぷちたび】を開発

同社は、2019年12月に社員旅行など主に団体旅行のみを取り扱う旅行会社として「旅で感動。感謝」を経営理念として創業した。しかし、コロナ禍で団体旅行が相次いで中止となり、かわって多様な旅行形態が求められる中、観光地本来の姿を保ちつつ、観光地の開発やサービスのあり方を見定めることにより、地域文化と環境配慮を第一に考えるツーリズム「ぷちたび」を独自開発した。

CO₂を排出しない環境に優しい電動モビリティ（バイク、3人乗りトゥクトゥク）を活用し、周遊性・滞在性を向上させ、四季折々の地域のおすすめ情報や楽しみ方を記載した「ぷちたびMAP」の開発や、ガイドは同行せず、参加者だけで穴場スポットを楽しむための「プレガイド」など新しい視点で旅のスタイルを確立させている。同社の取り組みは「そぞろ歩き」が名物である城崎温泉の新たな楽しみ方として受け入れられているほか、竹野地域や山陰海岸ジオパーク、そして天然記念物である『コウノトリ』や『玄武洞』など城崎温泉周辺の地域活性化にも貢献している。



アトラクティブジャパンアワード受賞式



電動 TUKTUK とお客様（山陰海岸ジオパークにて）



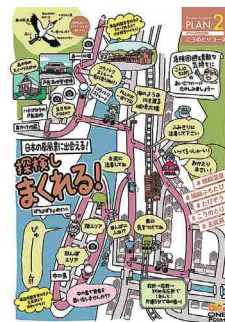
城崎電動 BIKE と共に大林社長



あーと叫びながら電動 BIKE で坂を下るお客様（あーの坂にて）



城崎ぷちたびチラシ



城崎ぷちたびこのとりのコース「ぷちたびMAP」

会社沿革

- 2019年12月 兵庫県知事登録第3-785として、株式会社 たびぞうを設立
- 2020年 7月 豊岡市観光地魅力強化事業に認定『ぷちたび』を開発
- 2021年 3月 城崎営業所を城崎温泉観光センター内へ開設
- // 5月 山陰海岸ジオパークビジネス創出支援事業認定
- // 7月 環境省滞在型ツアー・ワーケーション推進事業認定
- // 11月 兵庫県ポストコロナスタートアップ支援事業認定
- // 11月 特許庁第39類『ぷちたび』商標登録認定
- 2022年 2月 ジャパントラベルアワード2021ファイナリスト
- 2022年 5月 アトラクティブジャパンアワード2022最優秀賞受賞

会社住所

兵庫県豊岡市城崎町湯島 78
城崎温泉観光センター内
TEL 0796-29-1500
FAX 0796-29-1501
E-mail: info@tavizo.jp
HP: <https://tavizo.jp/puchitabi>

兵庫県鞆工業組合

廃漁網を創造的再利用した素材生地を用いた「豊岡鞆」事業を新たに展開

同団体は、豊岡の鞆事業者の事業発展を図るとともに、地域商標「豊岡鞆」の品質・ブランドの維持向上を理念として活動している。持続可能な製品づくりが求められるなか、(一社) ALLIANCE FOR THE BLUEが海洋負荷低減のため取り組む、廃漁網からナイロン生地を製作し製品化するというリサイクル活動に賛同した。この活動による商品開発第一弾として、組合員数社で生地に廃漁網を使用した「豊岡鞆」を製造した。

この取り組みは、各種メディアにも取り上げられ、「SDGsの豊岡鞆」としてヒット商品となると共にブランド力の強化にもつながり、加えて豊岡市の知名度向上にも寄与している。

その他、同様の商品開発を行った県下のケミカルシューズ団体と共同で展示会に出展するなど廃漁網活用の普及啓発を実施した。但馬海岸での廃漁網の活用等についても検討していくこととしており、今後も環境保全に対する取り組みが期待される。



廃漁網を利用した「豊岡鞆」



日本シューズコレクション展示会（神戸）



「豊岡鞆」展示会（東京）



「豊岡鞆」認定審査会

組合沿革

平成 16年 11月 特許庁、地域商標登録「豊岡鞆」を取得
 平成 25年 4月 縫製者トレーニングセンター開講
 平成 26年 4月 アルチザンアベニューオープン(ショップ、スクール)
 平成 30年 7月 「豊岡鞆」販売会社 K-site合同会社設立
 平成 30年 9月 「豊岡鞆」KITTE丸の内店(東京)開設
 令和 3年 10月 廃漁網の「豊岡鞆」生産販売開始

組合住所

兵庫県豊岡市大磯町1番79号
 TEL 0796-23-7833
 FAX 0796-24-2697
 E-mail: toyooka@bag.or.jp
 HP: <https://www.toyooka-kaban.jp>

歴代の受賞者

平成19年度

区分 キラリと世界へ輝く技術部門

株式会社 ビトーアールアンドディー

レース用オートバイホイール(鍛造マグネシウム製)の開発、製造、販売

マルヨ食品 株式会社

但馬を代表する水産物ホタルイカの醤油漬けを開発

中田工芸 株式会社

高級衣料品店等で使用される木製ハンガーの製造・販売

区分 人と自然の共生する事業部門

有限会社 夢大地

環境創造型・雇用型農業として、未来を展望したモデル農場

区分 観光・交流資源を活かしたツーリズム部門

但東町花卉球根園芸組合

特産品を活用したチューリップまつりの開催で地域を活性化

農家民宿「八平だるま」能勢 勇

グリーンツーリズム特区制度を活用した農家民宿の経営

たけの観光協会

愛犬専用ビーチの開設による新たな観光需要の開拓

浜坂観光協会

歴史、文化、産業等の知識を持つカニ専門家「カニソムリエ」の養成

平成20年度

区分 キラリと世界へ輝く技術部門

日本精機宝石工業 株式会社

工業用ダイヤモンドの研磨、焼結技術を独自に開発し、精密工具を製造

但馬ティエスケイ 株式会社

冷間鍛造により100mmを超える中空形状に加工できる技術を開発

株式会社 オーク

廃タイヤを利用した振動伝播阻止法(Ti-TAN工法)を開発

株式会社 トキワ

但馬の特産品を活かした調味料やワイン、梅飲料等の製造・販売

吉田体機工業 株式会社 養父工場

競技用体操器具(トランポリン等)の製造・販売

区分 人と自然の共生する事業部門

有限会社 清美社

地域一帯となったリサイクル事業(廃油をバイオディーゼル燃料に活用)

神鍋白炭工房 田沼茂之

白炭製造の省力化・量産化設備の開発

区分 観光・交流資源を活かしたツーリズム部門

但熊 西垣源正

卵かけごはん専門店「但熊」の運営による地域の活性化

但馬高原植物園

17haの敷地に、1,000種の自生植物を有する植物園

香住観光協会

カニ検定を実施し、「カニの本場カニのまち香住」を全国にPR

湯村温泉若女将会 ゆむらなでしこ

旅館同士連携して、若女将会「ゆむらなでしこ」を結成し観光PR

平成21年度

区分 キラリと世界へ輝く技術部門

富士発條 株式会社

世界最先端分野の超精密金属部品の研究・開発・製造

株式会社 東豊精工

電子部品・医療機器向け世界最小クラスのマイクロスプリングの設計・開発と量産化

香住鶴 株式会社

伝統的な酒母造り(生酛・山麩酛)にこだわり世界に通用する味を追求

区分 観光・交流資源を活かしたツーリズム部門

NPO法人 ハチ高原・氷ノ山自然体験村

自然体験活動で、生きる力と夢を育む力の増進

香美町村岡観光協会

ひょうご名物ガイドも輩出した、真心を込めたおもてなしのツーリズム

生活工房香味煙 井上利夫

燻製独特の色と香りにこだわった自然派無添加の手作りハムの製造

平成22年度

区分 キラリと世界へ輝く技術部門

美岡工業 株式会社

大型・小型・精密部品とあらゆるニーズに応え世界に通ずる加工技術の確立

株式会社 オーシスマップ

地図をベースにより良いまちづくり、福祉・防災における安心情報の提供

和田山精機 株式会社

超硬合金製冷間鍛造技術の開発により、世界最高水準の金型寿命と高精度の実現

区分 観光・交流資源を活かしたツーリズム部門

城崎このさき100年会議

城崎温泉の新たなおもてなし“ゆめば”の導入

和佐父集落西ヶ岡棚田保全維持会

棚田の景観保全や棚田を活用した体験交流による地域の活性化

平成23年度

区分 キラリと世界へ輝く技術部門

株式会社 タクミナ 生産本部 総合研究開発センター

高精度等速度カムにより、脈動を発生させない「スムーズフローポンプ」を開発し、最新の流体移送技術を確立

株式会社 誠工社

薄物媒体搬送技術における高度な技術ノウハウと部品集約システムを確立

区分 新分野へチャレンジする経営革新部門

株式会社 田中屋食品

品質の高い出石そばを商品化し、独自性のあるマーチャンダイジングを展開

大徳醤油 株式会社

地元農業者と連携して新商品開発に取り組むなど、農商工連携における地域のリーディングカンパニーとして活躍

平成24年度

区分 キラリと世界へ輝く技術部門

株式会社 多田スミス

鍛造技術レベルの向上を目的としたダイカスト技能士資格取得の促進により、各製品毎の最適な鍛造条件の設定等幅広い知識に基づく理論と実技の両輪で、品質及び生産効率の向上を実現

区分 観光・交流資源を活かしたツーリズム部門

株式会社 げんぶ堂

コウノトリの野生復帰に取り組む但馬地域で、6次産業を観光に生かす地域資源と一体となった観光誘客を推進

全但バス 株式会社 やぶ市観光協会

地域活性化を目的とした継続的な住民参加型ツーリズム、「但馬・やぶ四季体感ツアー」の実現

区分 新分野へチャレンジする経営革新部門

有限会社 マジック

昇華転写システム構築への取組により、色調管理等のデジタル化による一貫した品質管理に基づくデザインからプリント、縫製までの製作工程の内製化を実現

株式会社 但馬寿

地域産物・伝統技法を活用した製品開発、地域産品の販売や、情報発信機能を合わせ持つ「ゆむら屋」の運営とともに、「地域ブランドソング」も製作・活用し、自社・OB・地域一体となった経営を推進

平成25年度

区分 キラリと世界へ輝く技術部門

東海パネ工業 株式会社(豊岡神美台工場)

熟練職人の作り込みを再現した熱間コイルングマシン「YU-KI」の開発・導入などにより、多品種少量受注生産の「高品質ばね」を全国・世界へ発信

区分 観光・交流資源を活かしたツーリズム部門

日和山観光 株式会社

ジオパークの楽しみ方「見る・食べる・学ぶ」を具体化した「日和山海岸ガイドセンター」の展開をはじめ、ソフト・ハード両面から先導的・積極的なジオパーク活動を推進

明延鉱山ガイドクラブ

「このままでは鉱山の歴史を伝えられなくなる」との思いを胸に、日本の近代化を支えた産業遺産・明延鉱山の魅力を次代に伝える取組を展開

区分 新分野へチャレンジする経営革新部門

株式会社 コンゴプロダクツ

昇華転写プリントをホワイトボードへ施した、書いても、消しても転写が剥がれない!「サブリメイトボード」の開発

カタシマ 株式会社

但馬の豊かな自然が育んだ地域産業資源(どぶろく)を活用した日本と欧州の食文化の融合商品「どぶロック」の開発をはじめ、多様な地域連携商品を展開

平成26年度

区分 キラリと世界へ輝く技術部門

株式会社 川嶋建設

高強度炭素繊維を使用した木造建築・耐震補強リフォーム専用工法「耐震プレースX」の開発により、耐震工事の工期短縮とコストダウンを実現

有限会社 ノザキ

加工の難しい超硬合金などの研削加工技術で精度の限界に挑戦し続け、他社が真似できない困難な加工や1ミクロン単位の公差にも対応

区分 観光・交流資源を活かしたツーリズム部門

株式会社 グリーンウィンド 道の駅「但馬のまほろば」

「但馬の東の玄関口」として、但馬全域の観光情報発信や特産品販売・PRを行い、交流人口の増加に貢献

区分 新分野へチャレンジする経営革新部門

農業生産法人 株式会社 Teams

耕作放棄地の再生による循環型農業と6次産業化で地域の農業ビジネスを開拓

株式会社 サン・ウォーター

兵庫県最高峰、氷ノ山山系の地下200mから湧き出た水を利用した非加熱天然水を製造販売し地域活性化を推進

平成27年度

区分 キラリと世界へ輝く技術部門

新生化学工業 株式会社 豊岡事業部

培ったシール技術のノウハウで高品質・低価格な精密プラスチック二色成形品の供給に成功

此の友酒造 株式会社

元禄3年より受け継がれる伝統的な醸造技術による高品質な日本酒で全国新酒鑑評会2年連続金賞を受賞

区分 自然と共生する環境創造事業部門

コウノトリ育むお米 生産部会

コウノトリとの共生を目標に無農薬栽培、減農薬栽培による「コウノトリ育む農法」を推進し、環境と経済が両立する事例として国内外に広く発信

区分 観光・交流資源を活かしたツーリズム部門

株式会社 湯村温泉 愛宕山観光

四季折々の豊かな自然環境を活用した商品開発やスポーツ少年団合宿誘致等で交流人口拡大の貢献

株式会社 Mother Earth

カヌー、SUPボードを活用したマリナクティビティのマルチ化により海水浴シーズン外での観光誘客を推進

区分 新分野へチャレンジする経営革新部門

八鹿鉄工 株式会社

製造業から農業への進出により新たな農業のスタイルを確立し、高糖度トマトの安定栽培を実現

平成28年度

区分 キラリと世界へ輝く技術部門

二方蒲鉾 株式会社

地場の魚は旨かった。温故知新の精神で製品「濃香アゴ短冊」を開発し、平成28年全国蒲鉾品評会最高賞受賞

区分 観光・交流資源を活かしたツーリズム部門

一般社団法人 八千北高原自然協会

協会設立以来50年間にわたり観光事業を通じ宿泊客の誘致に努め、村岡区の発展に大きく寄与

区分 新分野へチャレンジする経営革新部門

株式会社 西村工務店

体験交流型観光の開発・提供により観光産業に参入し、観光産業の発展に貢献

平成29年度

区分 キラリと世界へ輝く技術部門

田治米 合名会社

「一粒の米にも無限の力あり」の理念のもと、純米酒に特化した酒造りと海外への販売展開

区分 観光・交流資源を活かしたツーリズム部門

若杉高原開発企業組合

星空ハイキングをはじめ、ファミリー向け企画でここだけの体験を提供する「四季型スキー場」

有限会社 さだ助

山陰海岸ジオパークの豊かな海の幸を様々な形で提供する新たな観光拠点KAN-ICHI

区分 新分野へチャレンジする経営革新部門

有限会社 石橋設計

不動産会社による映画館の復活と施設を有効利用した地域コミュニティスペースとビジネス空間の創出

株式会社 谷常製菓

農業参入への新たなチャレンジ。自社栽培イチゴを活用した新ブランド「完熟いちご菓子研究所」の取組み

平成30年度

区分 キラリと世界へ輝く技術部門

株式会社 オフテクス(豊岡工場)

世界初のポビドンヨードを使用したコンタクトレンズのケア用品の開発

区分 自然と共生する環境創造事業部門

JAたじま 出石フクノハナ生産部会

全国唯一(オンリー・ワン)の酒造好適米「フクノハナ」の生産

JAたじま つちかおり米協議会

安全安心なお米と消費者交流の礎となった「つちかおり米」の生産

区分 観光・交流資源を活かしたツーリズム部門

株式会社 ハマダセイ

地元魚介類を活用した新商品で、5年連続「五つ星ひょうご」に選定

区分 新分野へチャレンジする経営革新部門

キヌガワ 株式会社

靴のクリーニングから修理までアフターメンテナンスに一貫して対応

有限会社 花房商店

醤油製造で培った技術を活用した新たな発酵食品ブランドの開発

但馬漁業協同組合

但馬の豊かな魚資源を活用した「麴の魚醤」など自社ブランドの商品の開発

令和元年度

区分 キラリと世界へ輝く技術部門

大豊機工 株式会社

高度なもののづくりを支える職人技「きさげ」を用いた信頼性の高い製品づくり

やくの麺業 株式会社

飲食店や農業団体のニーズに応じた「別注麺」の開発

区分 自然と共生する環境創造事業部門

株式会社 キツキ商会

非常時の備えとなる環境に優しい太陽光発電を雪深い但馬地域でも推進・普及

区分 新分野へチャレンジする経営革新部門

ナカバヤシ 株式会社 兵庫工場

農業参入により雇用の維持と本業の技術継承を実現

令和2年度

区分 自然と共生する環境創造事業部門

株式会社 北星社

環境に優しい素材を用いた印刷物の製作並びに環境問題への取り組み

区分 観光・交流資源を活かしたツーリズム部門

かすみ海上タクシー事業協同組合

小型漁船を活用した遊覧事業の創出と異業種組合員との観光・経済振興への期待

あまるべ振興会

山陰海岸ジオパークの中心で、地元観光資源を活用した住民主体の地域活性化

令和3年度

区分 キラリと世界へ輝く技術部門

株式会社 脇漁具製作所

漁師のニーズに応えた新ソデイカ針と釣人向け新タイプルーアの開発

株式会社 システムリサーチ

コロナ禍でも先生が子どもたちに寄り添える「オンラインの教材配信システム」を開発！

区分 観光・交流資源を活かしたツーリズム部門

マルヤ水産 株式会社

山陰海岸ジオパークで育まれた「香住ガニ」の商品開発と販路拡大により地域活性化に貢献

区分 新分野へチャレンジする経営革新部門

大徳醤油 株式会社

天然醸造の手作り醤油キットの販売による、養父市から全国へ伝統技術の発信

日の出ホールディングス 株式会社 食品カンパニー但馬醸造所

コロナ禍を契機としたスピーディな新商品開発による地域貢献



兵庫県但馬県民局
地域政策室 地域づくり課

〒668-0025 兵庫県豊岡市幸町7-11 TEL 0796-26-3685

04但馬©2-004A4